

没後10年

映画監督 大島渚

Nagisa Oshima Retrospective

国立映画アーカイブ

小ホール^[地下1階]

定員=151名(各回入替制・全席指定席) | 各回の開映後の入場はできません。

2023年4月11日(水) — 5月28日(日)

会期中の休映日:月曜日

主催: 国立映画アーカイブ

協力: 株式会社大島渚プロダクション

チケット料金

一般: 520円 / 高校・大学生・65歳以上: 310円 / 小・中学生: 100円 /
障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ・
未就学児・優待: 無料国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。
上映会番号460

小ホール
上映作品

没後10年 映画監督 大島渚 Nagisa Oshima Retrospective

絶えず映画の自由を追い求め、作品ごとに主題やスタイルを刷新しながら、時に社会の暗部をえぐる反逆者として、また時に映画の常識を破る冒険者として屹立する巨人、映画監督大島渚(1932-2013)を失ってから早くも10年の歳月が経ちました。

若き日に松竹撮影所で生み出された鮮烈な『青春残酷物語』(1960)や『日本の夜と霧』(1960)、自ら興したプロダクション「創設社」を基盤に次々と送り出された『絞死刑』(1968)、『少年』(1969)、『儀式』(1971)といった問題作、そして世界をセンセーションに巻き込んだ国際的合作『愛のコリーダ』(1976)や『戦場のメリークリスマス』(1983) — 大島の作品群は日本の映画界ばかりか、日本社会そのものに大きな刺激を与え続けました。

本特集は、大島の没後10年という節目の年に、長篇デビュー以前に大島が手がけた新人スター紹介用の短篇『明日の太陽』、脚本を担当した『月見草』や『どんと行こうぜ』(いずれも1959)、新規収録したテレビ映画『アジアの曙』全13話(1964-65)を含む計45作品(34プログラム)を上映する大規模な回顧特集です。大島が自ら体系的に遺した膨大な作品資料や個人資料をもとに構成される展覧会と連動して、その挑戦的な知性と行動の多面体に迫ります。

- 監督・演出 原案 脚本・脚色 撮影 美術 音楽 出演 声の出演 解説・ナレーション
- 外国語映画には、すべて日本語字幕が付いています。
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。

マスクの着用をお願いします。
37.5℃以上の方は、入館の見合わせをお願いします。

- 当館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策
- 来館者全員への検温を実施。
 - 館内各所に手指用消毒液を設置。
 - ホール内の換気の実施。
 - スタッフはマスク・手袋を着用して対応。
 - 受付などの対面場所に飛沫ガードを設置。

- ご来館の皆様へのお願い
- 咳エチケットにご協力ください。
 - 館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。
 - 手洗いや手指の消毒にご協力ください。
 - 入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いします。
 - ホール内の飲食は、蓋の開まる飲み物以外は禁止します。

1 4/13(木)19:00 4/16(日)13:00

月見草(70分・35mm・白黒)
松竹大船の助監督によるシナリオ同人誌「7人」に大島が発表したメロドラマ「美しき水車小屋の少女」の映画化で、岩城其美夫の監督第1作。大学受験のため東京へ旅立った修一(清川)は恋人の恭子(十朱)に次第に冷ややかな態度をとるようになる。2人の仲を煮遣い奔走する修一の弟・健次(山本)はやがて恭子と惹かれ合うようになるが…。

1959(松竹大船) 監 岩城其美夫 脚 大島渚 演 井上晴二 妻 逆井清一郎 濱村義康 池田正義 山本豊三、十朱幸代、清川新吾、鳳八千代、菅佐原英一、桜むつ子、岡村文子

明日の太陽(6分・35mm・カラー)
松竹の新人スターをミュージカル仕立てで紹介する助監督時代の短篇。編集を浦岡敏一に依頼する一方、撮影には初期の代表作でコンビを組む川又昂を起用。「それまでの松竹映画と違うような撮り方 […] ふつうのカメラマンだったらいやがるようなクローズアップだとかカメラの動きだとか。全体的に動きのあるものに仕上がったと思います」(大島)。

1959(松竹大船) 監 大島渚 演 川又昂 宇野耕司 浦岡敏一 十朱幸代、山本豊三、桑野みゆき、杉浦直樹、九條映子、川津祐介、津川雅彦

2 4/19(水)19:00 4/22(土)12:30

どんと行こうぜ(89分・35mm・白黒)
大学の放送研究会で活動する女子学生が、ラジオ放送のため「学生のセックス、スピード、スリル」をテーマにした録音テープを作ることになる。津川雅彦と牧紀子が演じる主役の2人を軸に、若者たちの恋の行方を描いた青春映画であるが、閉塞した戦後社会に対する批判も随所に垣間見える。野村芳太郎監督の誘いで大島が助監督を務めるとともに、大島のオリジナル脚本を共同で脚色している。

1959(松竹大船) 監 野村芳太郎 脚 大島渚 演 川又昂 宇野耕司 浦岡敏一 芥川也寸志 津川雅彦、牧紀子、川津祐介、小坂一也、渡辺文雄、九條映子、中圭子、富永ユキ、高橋貞二、高千穂ひづる

3 4/18(火)15:00 4/20(木)19:00 4/22(土)15:30

愛と希望の街(62分・35mm・白黒)
助監督室の「シナリオ集」9号に発表したオリジナル脚本を大島自らが映画化した長篇デビュー作。複雑な家庭事情を抱え、路上で鳩を売る貧しい少年(藤川)に同情を寄せるブルジョワの娘(富永)。しかしそれは鳩の巣本能を利用した詐欺まがいの商売だった。27歳の大島が、階級の断絶を象徴する先鋭的な結末とともに、旧来の「松竹大船調」の枠組みを踏み越えた記念碑的作品。

1959(松竹大船) 監 大島渚 脚 楠田浩之 宇野耕司 藤川 杉原志 真鍋理一郎 藤川弘志、富永ユキ、望月優子、伊藤道子、渡辺文雄、千之赫子、須賀不二夫、坂下登

4 4/18(火)19:00 4/21(金)15:00 4/22(土)18:00

青春残酷物語(96分・35mm・カラー)
中年男性から金を巻き上げる犯罪を重ね破滅に向かう若い男女の欲望と行動を、旧世代の人間たちの生き様と対比的に描く。「シナリオ集」8号に発表したオリジナル脚本「愛と人間のめざめ」の映画化であるが、二番館での公開に甘んじた前作から一転、「松竹ヌーヴェル・ヴァーグ」の始まりを鮮烈に印象づけた。日本映画監督協会の第1回新人賞を受賞。

1960(松竹大船) 監 大島渚 演 川又昂 宇野耕司 浦岡敏一 真鍋理一郎 桑野みゆき、川津祐介、久我美子、渡辺文雄、小林トシ子、二本柳寛、山茶花究、森川信、浜村純、佐野浅夫、佐藤慶

5 4/19(水)15:00 4/21(金)19:00 4/23(日)13:00

太陽の墓場(88分・35mm・カラー)
『青春残酷物語』の好評を受けて提案された統篇的作品の製作を断り、大阪・釜ヶ崎を舞台に愚連隊、売血、戸籍の売買などを行いながら生き延びる人々とそこに鬱積する暴力とエネルギーを描いた群像劇。急ピッチで製作を進めるため、大島は石堂淑朗と初めて共同で脚本を執筆した。ヒロインを演じた型破りな新人女優・炎加世子の登場も話題を呼んだ。

1960(松竹大船) 監 大島渚 脚 石堂淑朗 演 川又昂 宇野耕司 浦岡敏一 真鍋理一郎 津川雅彦、炎加世子、佐々木功、川津祐介、渡辺文雄、小沢栄太郎、北林谷栄、藤原釜足、左ト全、佐藤慶、戸浦六宏、浜村純、伴淳三郎、羅生門

6 4/20(木)15:00 4/23(日)16:00 4/25(火)19:00

日本の夜と霧(107分・35mm・カラー)
安保闘争がきっかけで結ばれた新聞記者(渡辺)と女子学生(桑野)の結婚披露宴を舞台に、学生運動家OBたちの激しい政治論議が、大胆な長廻しの撮影とともに繰り広げられる。公開からわずか4日で打ち切られたことに対し、大島は「政治的弾圧」であると抗議して翌年に松竹を退社する。大島自らが「芸術的な集大成」と呼ぶ一本であるが、再公開まで3年近くを要した。

1960(松竹大船) 監 大島渚 脚 石堂淑朗 演 川又昂 宇野耕司 浦岡敏一 真鍋理一郎 桑野みゆき、津川雅彦、渡辺文雄、小山明子、芥川比呂志、佐藤慶、戸浦六宏、吉沢京夫

7 4/25(火)15:00 4/28(金)19:00 4/30(日)13:00

飼育(105分・35mm・白黒)
大島にとって初の独立プロ作品であり、芥川賞を受賞した大江健三郎の原作小説を大胆に解釈してシビアな寓話に仕立てている。第二次世界大戦末期、山間の村に米軍機が墜落。村人たちは、生き残りの黒人兵(ハード)を鎖でつなぎ、「飼育」することになるが、それによって閉鎖的な村社会に混乱が生じていく。以後、大島と数々の傑作をものする田村孟が脚色を手かけ、松竹時代の作品で撮影助手を務めていた舎川芳次が撮影を担当した。

1961(パレスフィルムプロ) 監 大島渚 脚 大江健三郎 田村孟 榎本美津子 松本俊夫、石堂淑朗、東松照明 舎川芳次 田逸郎 宮森みゆり 真鍋理一郎 三国連太郎、小山明子、三原葉子、中村雅子、岸輝子、沢村貞子、山茶花究、浜村純、戸浦六宏、ヒュー・ハード

8 4/12(水)15:00 4/14(金)19:00 4/15(土)12:30

天草四郎時貞(101分・35mm・白黒)
キリシタン弾圧に喘ぐ百姓を率い、江戸幕府への叛逆を企てた天草四郎(大川)の「島原の乱」に材を採った、大島唯一の東映作品。時代劇に安保闘争に連なる戦術論を持ち込み、百姓軍内部において分裂や扇動の渦巻く討論劇が繰り広げられる。松竹を離れた大島のもとに、東映時代劇の刷新を期待して持ち込まれた企画である。

1962(東映京都) 監 大島渚 脚 石堂淑朗 川崎新太郎 今保太郎 藤宮本信太郎 真鍋理一郎 大川橋蔵、大友柳太郎、三国連太郎、丘さとみ、千秋実、立川さゆり、河原崎長一郎、加藤嘉、花沢徳衛、佐藤慶、戸浦六宏



太陽の墓場



日本の夜と霧

9 5/17(水)15:00 5/20(土)12:30 5/25(木)15:00

KYOTO, MY MOTHER'S PLACE (52分・16mm・カラー)

BBC(英国放送協会)の企画を受けて、大島が少年期を過ごした京都の歴史や文化、伝統を自身の母の人生と重ね合わせながら綴ったテレビドキュメンタリー。大島自身によるナレーションとともに、京都という都市の成り立ちの紹介を通じて、自身の一部を語るセルフ・ドキュメンタリーともなっている。

1991(大島渚プロ=BBC)◎◎◎◎◎大島渚◎岡岡弘◎大島とも◎高橋百之助、普久原恒勇、三木稔、M・渡辺、S・オノ、山屋清

小さな冒険旅行(56分・35mm・カラー)

家の外へ迷い出た子ども(中川)が東京中の名所を巡り無事家にたどり着くまでを描く。同年設立された日生劇場による日本生命のPR映画で、大島が好んで取り上げた少年の題材に連なる1本としても興味深い。ヴェネツィア国際映画祭児童映画部門銀獅子賞を受賞。

1963(日生劇場映画部)◎◎◎◎◎大島渚◎石原慎太郎◎石堂淑朗◎舎川芳次◎今保太郎◎藤沼崎梅子◎真鍋理一郎◎中川春喜、佐藤慶、木村友恵、林和子、浜村純、加藤嘉、左ト全、小松方正、日下武史、戸浦六宏、矢野宣、小山明子、渡辺文雄

私のベレット(27分・DCP・カラー)

日本映画監督協会がプロダクションを設立して製作した、いすゞ自動車のPR映画。小型乗用車ベレットを軸にオムニバス3話で構成されるが、ベレットに執着するあまり別れるカップル(佐藤、加藤)や、ベレットで自殺を図ろうとする不倫相手(斉藤)との騒動など、PR映画としては異色の物語が展開される。

1964(日本映画監督協会プロ)◎◎◎◎◎大島渚◎脚本◎小津安二郎◎企画◎山本嘉次郎、千葉泰樹、五所平之助、小石栄一、松林宗恵、中平康、野村芳太郎、関川秀雄、滝沢英輔、牛原彦彦、田中重雄◎舎川芳次◎今保太郎◎藤沼崎梅子◎中村八大◎佐東朝生、加藤澄江、坊屋三郎、小山明子、柳生博、菅原謙二、家田佳子、斉藤頼子

10 5/13(土)18:30 5/26(金)15:00

ユンボギの日記(25分・16mm・白黒)

テレビドキュメンタリー『青春の碑』(1964)の取材で訪韓した大島は、街頭で子どもたちの写真を撮影した。その後、日本でもベストセラーになった韓国少年の日記に感銘を受け、写真を素材に少年のモノログと彼の尊厳を称えるナレーションとを組み合わせた映像詩として構成した作品。日韓基本条約に関する当時の議論が作品の背景となっている。

1965(創造社)◎◎◎◎◎大島渚◎イー・ユンボギ◎川又昂◎釜浦岡敬一◎内藤孝敏◎小松方正

アジアの曙 第一話(53分・16mm・白黒)

1962年からテレビドキュメンタリーや単発ドラマ等を手がけてきた大島の最初で最後の連続テレビドラマ。各局で打ち出された『男性路線』の中、『柔道一代』(1963、柴田吉太郎 他)に主演した御木本伸介を起用して、『夕日と拳銃』(1964、田坂勝彦)の後続番組として放映された。中国大陸での袁世凱独裁に抗う第二革命を題材として、革命に参加した唯一の日本人・中山(中山)を主人公に、革命軍の仲間たちの群像劇が展開される。第一話は明治末の日本を舞台に、陸軍士官学校で中山と友情を結んだ清国留学生の李烈鈞(佐藤)が、辛亥革命(第一革命)の勃発により帰国するまでを描く。

1964(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎戸浦六宏◎立川さゆり◎松本典子◎久米明◎小山明子◎加藤武



ユンボギの日記

11 5/14(日)13:00 5/26(金)19:00

アジアの曙 第二話(54分・DCP・白黒)

エリートの道歩む中山は、井戸川少佐(久米)の仲人により康子(小山)と結婚する。他方、日本に残った革命派留学生の周育賢(戸浦)の恋人・幸子(松本)は政治犯として逮捕される。中山は、李から革命への参加を要請する電報を受け取り、陸軍大学校を自主退学して中国へ渡る。各話の冒頭には、前話までのあらすじを説明するナレーションが入っている。

1964(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎戸浦六宏◎久米明◎平田守◎加藤武

アジアの曙 第三話(54分・DCP・白黒)

上海に着いた中山は李の妹・令鈴(立川)の手引きで李と再会する。袁世凱による弾圧を避けて南京の黃興(浜田)のもとに合流するため、船を調達しようとする中山は顔役の八田(佐野)と取引をする。だが、計画通りにはいかず、実力行使で南京へ。一方、東京の留守宅では、中山のスパイ容疑により妻の康子が憲兵隊に連行される。

1964(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎戸浦六宏◎立川さゆり◎佐野浅夫◎浜田寅彦◎小山明子◎加藤武

12 5/14(日)16:00 5/27(土)12:30

アジアの曙 第四話(57分・16mm・白黒)

1913年、袁世凱を打倒する第二革命を起こした革命軍は、江西省の独立のため金鶏波要塞を攻めようとするが、日本を嫌う郁英(芳村)は中山に反発する。他方、東京の康子は井戸川少佐のはからいで憲兵隊から釈放され、中山を探すため中国へ単身旅立つ。そして、湖口要塞の何子奇將軍(小松)が革命軍に加わるが、歓迎の宴席で犠牲者が出る。

1964(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎戸浦六宏◎小松方正◎芳村真理◎立川さゆり◎浜田寅彦◎小山明子◎加藤武

アジアの曙 第五話(53分・DCP・白黒)

革命軍を率いる李が上海のイギリス租界へ武器調達に向かった留守中、中山は皆の反対を押し切って湖口要塞から革命軍を撤退させ、敵の襲撃をかわして兵力を温存する。劉師団を率いる劉親子(柳生、加藤)を味方につけようと中山が説得するが、交戦を望まない彼らは兵を革命軍に引き渡して戦線を離脱。一方、康子には新聞記者の斎藤(日恵野)が随行し、揚子江を船で遡る。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎小松方正◎芳村真理◎立川さゆり◎日恵野晃◎柳生博◎加藤治子◎小山明子◎加藤武

13 5/21(日)13:00 5/27(土)15:30

アジアの曙 第六話(58分・16mm・白黒)

前線で戦う令鈴たちは劉親子の復讐を願うが、すでに袁世凱軍の捕虜になっており、中山たちははろうじて劉の母を救出する。李が財閥から資金を工面し、田心諒(椎原)が敵の二個師団を買収する。しかし、買収が間に合わず、戦闘が始まり劉の死を知った母は、哀しみのあまり我を忘れて突撃する。ついに買収は成功して革命軍が勝利を収める。一方、南京に着いた康子は八田の出迎えを受ける。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎小松方正◎芳村真理◎椎原邦彦◎日恵野晃◎佐野浅夫◎柳生博◎加藤治子◎小山明子◎加藤武

アジアの曙 第七話(57分・16mm・白黒)

袁世凱派の陳元竜將軍(安達)が守る江西省の首都・南昌を攻略せよという林虎將軍の作戦を、方声涛(永井)が革命軍に伝える。作戦に従い戦闘を始めたが、援軍は来ず苦戦する。声涛が姿をくらませ、恋人の美瑛(小林)は追い詰められる。一方、斎藤と共に南昌入りした康子は、新聞記者として身分を偽り陳元竜に接見する。そして、両軍の間で板挟みとなった、声涛と美瑛は陳元竜の部下に銃殺される。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎小松方正◎芳村真理◎永井一夫◎小林千登勢◎日恵野晃◎安達国晴◎小山明子◎加藤武

14 5/21(日)16:00 5/27(土)18:30

アジアの曙 第八話(57分・16mm・白黒)

第二革命の正念場である南昌攻めは難航するが、林虎將軍(観世)の援軍が到着するまで革命軍は持ちこたえる。一方、康子は陳元竜に捕えられ、そして、南昌城下へ偵察に行った林虎と中山は、死んだ周育賢の恋人・幸子と思いがけず出会う。郁英は労働者たちに蜂起を促して戦闘を続け、革命軍は南昌を攻略。ついに康子は中山と再会する。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎観世栄夫◎小松方正◎芳村真理◎松本典子◎小山明子◎加藤武

アジアの曙 第九話(53分・DCP・白黒)

南昌に入城した革命軍に地元の財閥から資金提供の申し出があるが、労働者たちは反発する。一方、革命に全てを捧げる中山は、康子に対して幸子を連れてすぐに帰国するよう説得するが、睦まじい夫妻の姿に令鈴は秘かな恋心を碎かれる。そして、中山は少人数で敵軍に夜襲をかけて失敗し、十万の大軍に囲まれた革命軍は抗戦が撤退まで議論する。李は抗戦を主張して多数決で支持されるが、負け戦を避けて撤退すべきという意見の中山たちと袂を分かっことになる。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎観世栄夫◎小松方正◎芳村真理◎立川さゆり◎小山明子◎加藤武

15 5/23(火)19:00 5/28(日)13:00

アジアの曙 第十話(53分・DCP・白黒)

革命軍は二手に分裂し、中山は郁英と林虎將軍とともに新たな革命の拠点・長沙へ出発する。途中の村では父を殺された娘・朱浩(小川)に出会い、闘いへの抗議を受けるが、林虎將軍が村民たちを袁世凱軍の徴用から守る。助けられた村民たちも一緒に長沙に向かうことになる。だが、中山は李を案じて南昌に戻り、落ちのびた同志たちと合流して李を逃がす。一方、漢口へ出た康子は井戸川少佐に再会する。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎観世栄夫◎佐藤慶◎芳村真理◎立川さゆり◎小川真由美◎天野鎮雄◎久米明◎小山明子◎加藤武

アジアの曙 第十一話(57分・16mm・白黒)

第二革命は敗北し、南昌で捕らえられた中山は、応詔や令鈴とともに納屋に閉じ込められる。豪商の金(伊藤)、郁英や財閥の娘・阿香(寺田)も投獄される。李の行方を探し出すと次々に拷問にかけられるが、中山の機転で行き先を偽って陽動する。極限状況下で中山と郁英との間の特別な感情が露呈する。そして、彼らは脱出して長沙へ旅立とうとするが…。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎芳村真理◎立川さゆり◎椎原邦彦◎寺田路恵◎天野鎮雄◎加藤武

16 5/24(水)19:00 5/28(日)16:00

アジアの曙 第十二話(57分・16mm・白黒)

第二革命が失敗して追われる身となった中山は、応詔や阿香とともに長沙に向かう。一方、漢口で康子は、日本軍の大陸進出に中山が利用されることを心配して、中山は死んだと言いつける。旅路の途上で病に倒れた中山を阿香が看病していたが、日本軍に捕らわれる。護送中に同志・黒炎児(市川)に救出された中山と阿香は上海に赴き、阿香の幼馴染の医者・明哲(新)の治療を受ける。そして、康子は上海の日本軍司令部で中山の消息を知る。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎御木本伸介◎小山明子◎椎原邦彦◎市川好郎◎久米明◎寺田路恵◎新克利◎加藤武

アジアの曙 第十三話(54分・16mm・白黒)

日本にとつての中国、中国にとつての日本が、以前とは全く異なる状況となった。上海で日本軍に捕らわれた中山を黒炎児が救出しようとして失敗する。一方、日本に亡命して再起を図ろうとする李は日本軍と取引をする。病身の中山は康子に自らの敗北を語る。そして、阿香は明哲と結婚し、新たな運動に身を投じていく。

1965(創造社=国際放映=TBS)◎◎◎◎◎大島渚◎中山(中山)◎今保太郎◎小島初雄◎御木本伸介◎佐藤慶◎小松方正◎芳村真理◎永井一夫◎小林千登勢◎日恵野晃◎安達国晴◎小山明子◎加藤武

30 5/13(土)15:30 5/18(木)19:00 5/23(火)15:00

愛の亡霊 (107分・35mm・カラー・仏語字幕付 with French subtitles)

『愛のコリーダ』に続きフランス資本で製作され、カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞した。明治中期、人力車夫の妻(吉行)は若い農夫(藤)との情交に溺れ、共謀して夫を殺害。しかし、2人は夫の亡霊に苛まれ、やがて破滅へと向かっていく。撮影に名手・宮島義勇を迎え、幻想的な画面を構築。それまで大島作品に批判的だった映画評論家の淀川長治からも作家としての成熟ぶりを絶賛された。

1978(大島渚プロ=アルゴス・フィルム) 大島渚 中村糸子 宮島義勇 戸田重昌 堀浦岡敬一 武満徹 吉行和子 藤竜也 田村高廣 長谷川真砂美 小山明子 伊佐山ひろ子 殿山泰司 佐藤慶 川谷拓三

31 5/20(土)18:50 5/24(火)15:00

戦場のメリークリスマス [デジタル修復版] (123分・DCP・カラー)

イギリス人作家ローレンス・ヴァン・デル・ポストの「影の獄にて」を日英合作で映画化。ジャワの日本軍俘虜収容所を舞台に、西洋と東洋の文化・価値観が激しく衝突する。デヴィッド・ボワイ、坂本龍一、ビートたけしという異色の配役、坂本の主題曲も話題を呼んで大ヒット。2021年に公開された4K修復版を2K上映。

1983(シネベンチャー・プロ=レコーデッド・ピクチャー・カンパニー=大島渚プロ=テレビ朝日=プロードバンク・インベストメント) 大島渚 ヴァン・デル・ポスト ポール・マイヤースバーグ 成島東一郎 戸田重昌 大島ともよ 坂本龍一 デヴィッド・ボワイ トム・コンティ、ビートたけし、ジャック・トンプソン、ジョニー大倉、内田裕也、戸浦六宏、室田日出男

32 5/18(木)15:00 5/20(土)16:00 5/25(木)19:00

マックス、モン・アムール (98分・35mm・カラー)

パリに暮らす英国大使館勤務のピーター(ヒギンズ)は、妻のマーガレット(ランプリング)の浮気を疑うが、彼女の密会相手はなんとチンパンジーだった…。『愛のコリーダ』、『愛の亡霊』に続くフランス資本の作品だが、プニュエルとの作品で知られる脚本家ジャン・クロード・カリエルやヌーヴェル・ヴァーグの代表的カメラマン、ラウール・クタールら名匠を含めフランス映画界のスタッフで固めた「外国映画」として製作された。日本公開は1987年。

1986(グリニッジ・フィルム・プロ=フィルムA2) 大島渚 ジャン・クロード・カリエル ラウール・クタール カリエル・ギョッフア ミッシェル・ポルトル シャーロット・ランプリング、アンソニー・ヒギンズ、ピクトリア・アプリル

33 4/12(火)19:00 4/15(土)15:30★

御法度 (100分・35mm・カラー)

1990年代半ばに企画され、脳出血後のリハビリを経て製作・完成、大島12年ぶりの劇場映画にして遺作となった。司馬遼太郎の短編小説をもとに、幕末の武闘集団・新選組が一人の美少年剣士(松田)をめぐる統制を失っていきさまを描く。『戦場のメリークリスマス』以来となるビートたけし(主演)と坂本龍一(音楽)の起用、これが映画デビューとなる松田龍平の妖しい存在感、アメリカ映画を中心に手がけていた栗田豊通の撮影による映像美、ワダエミの斬新な衣裳なども注目を集めた。

1999(松竹=角川書店=IMAGICA=BS朝日=衛星劇場) 大島渚 司馬遼太郎 栗田豊通 西岡善信 大島ともよ 坂本龍一 ビートたけし、松田龍平、武田真治、浅野忠信、崔洋一、的場浩司

★印の回に上映後トーク(約30分)を行います。

34 4/11(火)18:30★ 4/13(土)15:00 4/16(日)16:00

わが映画人生 黒澤明監督 (115分・DCP・カラー)

大島が理事長を務めた当時(1980-1996)の日本映画監督協会が創立50周年を機に先輩監督の貴重な証言を永久保存する目的で製作を開始した「わが映画人生」シリーズの一本。大島が聞き手を務め、黒澤明の映画人生と作品について語り合う。大島は「黒澤さんが『生きものの記録』と早坂文雄さんについて語られたくんだり、何度見直しても胸が熱くなる」と振り返っている。1993年8月1日に収録。

2002(日本映画監督協会) 黒澤明(インタビュー) 大島渚

★印の回に上映後トーク(約30分)を行います。

展示室(7階)

【企画展】 常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

没後10年 映画監督 大島渚

Film Director Nagisa Oshima

2023年4月11日(火)―8月6日(日)

* 月曜日および5月30日(火)―6月1日(木)は休室です。

主催:国立映画アーカイブ

特別協力:株式会社大島渚プロダクション

監修:樋口尚文

『大島渚全映画秘蔵資料集成』(2021年)の編著者樋口尚文氏を監修に迎え、同書にも収められた貴重な資料や当館の所蔵品が一堂に会する本展覧会は、大島監督の映画人生を貫く挑戦的な知性と行動を明らかにします。

* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

開室時間=11:00-18:30(入室は18:00まで)

* 4月28日、5月26日、6月30日、7月28日の金曜日は開館時間を20:00まで延長いたします(入室は19:30まで)。

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)

／大学生130円(60円)／65歳以上・高校生以下及び

18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

* 国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

* 会期および開館時間等に変更がある場合はホームページでお知らせします。

NFAJデジタル展示室

下記ホームページからお入りください

<https://www.nfaj.go.jp/online-service/digital-gallery>



戦場のメリークリスマス

©大島渚プロダクション



『愛のコリーダ』撮影現場にて

©大島渚プロダクション

上映後トークのご案内

4月11日(火)15:00『少年』

トークゲスト: 小山明子(俳優)

聞き手: 樋口尚文(映画評論家)

4月11日(火)18:30『わが映画人生 黒澤明監督』

トークゲスト: 大島新(映画監督)

聞き手: 樋口尚文(映画評論家)

4月15日(土)15:30『御法度』

トークゲスト: 成田裕介(映画監督)

聞き手: 樋口尚文(映画評論家)

* トークイベントからの参加はできません。

* ゲストは予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

▶ チケット料金

一般:520円/高校・大学生:65歳以上:310円/小・中学生:100円/障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ・未就学児・優待:無料

* 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。

* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

* 未就学児、優待の方は「障害者または付添者等券」をお求めください。

* 『愛のコリーダ』は成人映画です。小・中学生券はございません。また成人映画上映の際は、女性専用席を設けます。料金区分は通常の上映回と同じです。

▶ オンライン販売

4月4日(火)以降、毎週火曜日10:00amより、翌週(火~日)上映回の電子チケットを当館HPより公式チケットサイトにて各回の開映15分前までオンライン販売します。

▶ 窓口販売

上映当日、当館1階窓口にて各回開映1時間前から5分前まで、チケットを若干数販売します。座席選択はできません。窓口には必ず購入でき、座席選択可能なオンライン購入をお勧めします。オンライン完売となった場合も、当日の窓口販売はございますが、枚数は限定数となります。

▶ 新型コロナウイルス感染症について

下記に該当する方は購入をお控え願います。

* 陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方

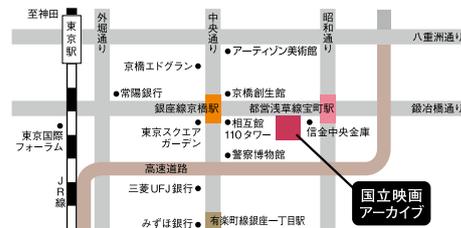
* 発熱等の諸症状がある方

▶ 入場方法

* 開場は開映30分前です。

* チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷されたものでご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いのないようご注意ください。

* 各回の開映後の入場はできません。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

* 上映をご覧になるお客様へ: チケットをお持ちのお客様も、開映後の入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600

ホームページ: www.nfaj.go.jp

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR

Instagram: nationalfilmarchiveofjapan



没後10年 映画監督 大島渚

Nagisa Oshima Retrospective

4月	11		15:00	⑮ 少年 ★上映後トーク (97分)	18:30	⑳ わが映画人生 黒澤明監督 ★上映後トーク (115分)		
	12	4/11～16回上映回の チケット販売開始: 4/4 10:00～	15:00	⑧ 天草四郎時貞 (101分)	19:00	㉓ 御法度 (100分)		
	13		15:00	㉔ わが映画人生 黒澤明監督 (115分)	19:00	① 月見草/明日の太陽 (計76分)		
	14		15:00	⑮ 少年 (97分)	19:00	⑧ 天草四郎時貞 (101分)		
	15		12:30	⑧ 天草四郎時貞 (101分)	15:30	㉓ 御法度 ★上映後トーク (100分)	19:10	⑮ 少年 (97分)
	16	13:00	① 月見草/明日の太陽 (計76分)	16:00	㉔ わが映画人生 黒澤明監督 (115分)			
	18	4/18～23回上映回の チケット販売開始: 4/11 10:00～	15:00	③ 愛と希望の街 (62分)	19:00	④ 青春残酷物語 (96分)		
	19		15:00	⑤ 太陽の墓場 (88分)	19:00	② どんと行こうぜ (89分)		
	20		15:00	⑥ 日本の夜と霧 (107分)	19:00	③ 愛と希望の街 (62分)		
	21		15:00	④ 青春残酷物語 (96分)	19:00	⑤ 太陽の墓場 (88分)		
	22		12:30	② どんと行こうぜ (89分)	15:30	③ 愛と希望の街 (62分)	18:00	④ 青春残酷物語 (96分)
	23	13:00	⑤ 太陽の墓場 (88分)	16:00	⑥ 日本の夜と霧 (107分)			
	25	4/25～30回上映回の チケット販売開始: 4/18 10:00～	15:00	⑦ 飼育 (105分)	19:00	⑥ 日本の夜と霧 (107分)		
	26		15:00	⑰ 悦楽 (91分)	19:00	⑱ 白昼の通り魔 (99分)		
	27		15:00	⑲ 忍者武芸帳 (117分)	19:00	⑰ 悦楽 (91分)		
	28		15:00	⑳ 日本春歌考 (103分)	19:00	⑦ 飼育 (105分)		
29	13:00		⑱ 白昼の通り魔 (99分)	16:00	⑲ 忍者武芸帳 (117分)			
30	13:00	⑦ 飼育 (105分)	16:00	⑳ 日本春歌考 (103分)				
5月	2	5/2～7回上映回の チケット販売開始: 4/25 10:00～	15:00	⑲ 忍者武芸帳 (117分)	19:00	⑱ 白昼の通り魔 (99分)		
	3		13:00	⑳ 日本春歌考 (103分)	16:00	⑰ 悦楽 (91分)		
	4		13:00	㉑ 無理心中 日本の夏 (99分)	16:00	㉒ 絞死刑 (118分)		
	5		13:00	㉓ 帰って来たヨッパライ (80分)	16:00	㉔ 新宿泥棒日記 他 (計139分)		
	6		12:30	㉖ 東京戦争戦後秘話 (94分)	15:30	㉔ 新宿泥棒日記 他 (計139分)	19:00	㉑ 無理心中 日本の夏 (99分)
	7	13:00	㉗ 儀式 (122分)	16:20	㉘ 夏の妹 (95分)			
	9	5/9～14回上映回の チケット販売開始: 5/2 10:00～	15:00	㉒ 絞死刑 (118分)	19:00	㉑ 無理心中 日本の夏 (99分)		
	10		14:40	㉖ 東京戦争戦後秘話 (94分)	18:30	㉔ 新宿泥棒日記 他 (計139分)		
	11		15:00	㉓ 帰って来たヨッパライ (80分)	19:00	㉘ 夏の妹 (95分)		
	12		15:00	㉗ 儀式 (122分)	19:00	㉖ 東京戦争戦後秘話 (94分)		
	13		12:30	㉚ 愛のコリーダ [デジタル修復版] * (108分)	15:30	㉙ 愛の亡霊 (107分)	18:30	⑩ ユンボギの日記/アジアの曙 第一話 (計78分)
	14		13:00	⑪ アジアの曙 第二話/第三話 (計108分)	16:00	⑫ アジアの曙 第四話/第五話 (計110分)		
	16	5/16～21回上映回の チケット販売開始: 5/9 10:00～	15:00	㉘ 夏の妹 (95分)	18:50	㉗ 儀式 (122分)		
	17		15:00	⑨ KYOTO, MY MOTHER'S PLACE 他 (計135分)	19:00	㉓ 帰って来たヨッパライ (80分)		
	18		15:00	㉚ マックス、モン・アムール (98分)	19:00	㉙ 愛の亡霊 (107分)		
	19		15:00	㉚ 愛のコリーダ [デジタル修復版] * (108分)	19:00	㉒ 絞死刑 (118分)		
20	12:30		⑨ KYOTO, MY MOTHER'S PLACE 他 (計135分)	16:00	㉚ マックス、モン・アムール (98分)	18:50	⑬ 戦場のメリークリスマス [デジタル修復版] (123分)	
21	13:00		⑬ アジアの曙 第六話/第七話 (計115分)	16:00	⑭ アジアの曙 第八話/第九話 (計110分)			
23	5/23～28回上映回の チケット販売開始: 5/16 10:00～	15:00	㉙ 愛の亡霊 (107分)	19:00	⑮ アジアの曙 第十話/第十一話 (計110分)			
24		15:00	⑬ 戦場のメリークリスマス [デジタル修復版] (123分)	19:00	⑯ アジアの曙 第十二話/第十三話 (計111分)			
25		15:00	⑨ KYOTO, MY MOTHER'S PLACE 他 (計135分)	19:00	㉚ マックス、モン・アムール (98分)			
26		15:00	⑩ ユンボギの日記/アジアの曙 第一話 (計78分)	19:00	⑪ アジアの曙 第二話/第三話 (計108分)			
27		12:30	⑫ アジアの曙 第四話/第五話 (計110分)	15:30	⑬ アジアの曙 第六話/第七話 (計115分)	18:30	⑭ アジアの曙 第八話/第九話 (計110分)	
28		13:00	⑮ アジアの曙 第十話/第十一話 (計110分)	16:00	⑯ アジアの曙 第十二話/第十三話 (計111分)			

■開場は開映30分前です。

■開映後の入場はできません。予告篇はございません。

■各日11:00に開館します。

■*印は当該の上映回に女性専用席を設けます。

表紙:『愛のコリーダ』公開時の大島渚監督